



**南高**  
**進路だより**

**律・啓・創**  
**HOP! STEP! JUMP!**

**7月号**

平成26年7月1日  
福島南高・進路指導部

### 7月の行事 (予定)

- |   |   |
|---|---|
| 1日 (火) 求人票受付開始<br>第3回交通安全指導 ~2日<br>第2回 PTA 朝の挨拶運動 | 16日 (水) 前期スポーツ大会 ~17日   |
| 2日 (水) 煌南祭準備 ~4日                                  | 18日 (水) 全校集会<br>大規模改修に伴う教室・職員室移動<br>街頭指導                              |
| 5日 (土) 第9回煌南祭 仮装行列                                | 22日 (火) 1年夏期課外 ~30日   |
| 6日 (日) 第9回煌南祭 一般公開                                | 2年夏期課外 ~8月1日  |
| 7日 (月) 煌南祭片付け<br>選手壮行会                            | 3年夏期課外① ~8月1日   |
| 8日 (火) 煌南祭代休 ~9日                                  | 26日 (土) 全統高2模試  |
| 10日 (木) 小論文ガイダンス (3年)                             | 27日 (日) 第2回全商ビジネスコミュニケーション検定  |
| 11日 (木) 進研総合学力記述模試 (3年)<br>~12日                   | 28日 (月) 中学生体験入学   |
| 12日 (土) 進研総合学力テスト (2年)<br>第5回公務員模試 (3年)           | 31日 (木) 東北大学 OC 見学会<br>8月8日 (金) 3年全統マーク模試 ~9日<br>8月25日 (月) 全校集会・課題テスト |

### Information

#### 7月1日 (火) より企業の求人票受付開始！！

- 来校された会社の求人票と資料は進路資料室にファイルします。(最近、直接は少なくなっている)
- 全国の公開求人票が進路室パソコンで閲覧できます。パスワードあり。職種ごとに検索できるので、積極的に活用してください。

企業訪問を終えて・・・

今年度は就職希望者が例年よりも多いことを受けて、進路指導部全体で企業訪問に行ってきました。その際に「どのような人材を求めますか」という質問をしてきたので、ここでまとめてみます。

- ① 健康な人物  
毎日出勤する。当たり前のことが最近の新採用はできない、とのこと。
- ② 礼儀正しい  
いくら時代が変わっても、目上の人に対する礼儀を知らないものはだめです。高校と違って 30歳も年上の先輩もいるわけです。わきまえて接しましょう。
- ③ 挨拶ができる  
普通は新採用から先輩方に挨拶をします。しかし最近は、こちら側から挨拶をしなければそのまま素通り、という人が増えているそうです。いつでも、どこでも自ら挨拶ができるようにしましょう。

この3つをあわせると、やはり部活動を3年間続けた生徒はポイントが高いそうです。しかしそれだけで採用されるわけではありません。最終的には面接で判断します。日頃から①～③を大事にしている生徒はそれがそのまま伝わります。意識して頑張ってください。

## 赤本市 7月15日(火)

- 希望申し込み・・・昼休み 12:40～13:05 1F教室

過去の赤本(2012年度とそれ以前の)を1～3年の希望者に提供します。赤本は1F教室に並べておくので、その場で見て、欲しいものが見つかったら申込用紙を挟めておく。希望者が重なったものについては抽選になります。(3年生は優先)



- 配 布・・・同日放課後 15:30

1F教室にて配布します。

\*1Fの棚にあるのは、2011以前のものです。

希望者には随時提供します。進路まで声かけてください。

※進路室にある最新の赤本は、1泊の貸出を行っています。

第一志望合格に向けて、積極的に活用してください。

## 夏期休業

長期休業中というのは遊ぶ期間ではありません。普段学校のある時期にはできないことをやる時間です。勉強、部活動、大学オープンキャンパス、進路について親とゆっくり話す時間に使いましょう！

## 夏季課外

夏季課外は土日を除き以下の予定で実施されます。(1・2年は全員、3年は選択)

1・2年は60分、3年は90分

前期 1年 7/22(月)～30(水)6日間 2年 7/22(月)～31(木)7日間

3年 7/22(月)～8/1(金)8日間

実施科目、時間割などの詳細は各学年より後日連絡があります。

後期 3年 8月5日(火)～8日(金)の4日間

詳細は学年より連絡があります。

## I 3学年小論文ガイダンス 7月10日(木)

小論文指導開始に向けてのガイダンスです。 16:30～ 視聴覚教室 (筆記用具持参)

○小論文を使った受験への心構え ○小論文指導を受ける手続き ○推薦図書など

の話があります。時期は推薦・AO、一般、国公立2次対策の3段階ありますが、3年生で小論文を必要とする予定の者(福島大学人間発達推薦Ⅱ受験希望者を含む)は全員このガイダンスを受けてもらいます。

## II 3学年分野別小論文ガイダンス 7月18日(金) 終業日 15:30～

分野ごとに分かれるため、使用教室は後日連絡。(筆記用具持参)

7月10日に提出してもらった進路希望書をもとに分野別に分かれ、仮担当の先生方にご指導いただきます。分野は「経済・経営」「教育」「人文」「国際関係・語学」「医療」「栄養・保育・福祉」などです。

○分野別 知っておきたい知識、今ホットな話題・キーワード

○夏休み中、今後の取り組みとアドバイス

○分野別推薦図書

## 【小論文対策】 (学研「小論文対策研究会」より)

### ①小論文入試の近年の傾向

- ・課題文の要約、下線部説明などテーマの理解に重点を置く設問が増えている。
- ・設問の数が多くなっている。  
→こうした傾向の理由は、課題文で出題される社会問題が解決策や対策を簡単に示せない性格を持っていることに起因する。
- ・受験生の読解力不足、社会問題に対する知識不足が目立つ。単純に裁断するのではなく、価値の両義性を踏まえた理解が求められる。

### ②「転換するグローバル化問題」

小論文に出題される分野はますます多様になっているが、中でも「グローバル社会」をめぐる問題ははずせない。なぜなら今私たちの周りで起きている様々な格差・貧困問題は「グローバル化」に主たる原因があるからだ。

グローバル化とは、主権国家という枠組みそのものが相対化され、人・モノ・カネ・情報のすべてが全地球規模で活発にやり取りされる事態を指す。湾岸戦争の勝利、社会主義陣営の崩壊によって1990年代以降、アメリカを中心とした多国籍企業は世界全体を市場と考え、供給者と購買者を世界中で物色している。

入試問題としては2006年度から本格的に「グローバル化」を扱う問題が顕在化している。グローバル社会が生み出す価値の両義性（競争原理による豊かさと貧困の格差）についての基本的な問題から、今後は「グローバル社会にどう適応し、いかに生き延びるか」が問われるようになるだろう。今ホットなキーワードは「絶対的貧困」と「相対的貧困」であるが、詳しくは「3学年小論文ガイダンス」(7/10)にて、大槻先生が講義される予定。

### ③「理系の小論文の2タイプ」

- ・理科、数学などの公式、定理などを使って検証するタイプに対しては、教科の学力アップに力をいれる。
- ・科学技術の進歩と社会生活のあり方を考えさせるものに対しては、科学が日常生活に与える影響を考える。科学技術が生み出す具体的な社会問題として何があるかを知っておく必要がある。

推薦入試や国公立2次試験の「小論文試験」で力を発揮するために、今すべきことは、

- 1 何よりもセンター試験での得点アップに全力を尽くすこと。
- 2 志望大学・学部・学科に沿った読書をしておくこと。特に、夏期休業はまとめて読書する絶好の機会。専門に関わる本を2～3冊購入して手元に置き、何度も読み返せるようにすること。  
(志願理由書や面接にも大きな力となる)
- 3 思考の素材を頭に入れ、考え・論点をまとめる読み方の訓練をしておくこと。その手だてとして新聞を読む習慣を身につけること。全国紙、論説、特集記事を努めて読むようにすること。  
朝学習で配布された記事だけでなく、自ら関心を持って集めた記事や問題集を用いて、論点を要約し、自分の意見を書きとめる。TVの報道番組やインターネットも情報源。

## 【2014年度入試総括と2015年度入試情報】

(河合塾「大学入試情報分析報告会」より)

### 【① 2014年度入試のまとめ】

大きく分けてポイントは4つ。①大学志願者数が2万人減少。②センター試験の平均点は理系受験者が多い科目においては上昇し、総合平均点は文系と理系で大きく差が開いた。③文系志願者は減少、理系志願者は減少なし。この結果系統人気では文低理高が続いている。教育は減少、看護は増加が頭打ちとなった。私立大の医・歯・薬学部は大きく志願者が増加した。④多くの看護系の学部が新設された結果、競争率が下がり易化した大学も目立った。私立大では複数併願制度やネット出願による受験料割引制度が広がっており、これが私立大の志願者増の大きな要因である。

### 【② 国公立大入試の状況】

国公立大人気に大きな変化はなし。国立大、公立大に分けると、国立大の志願者は前年比97%、公立大は同102%と公立大で志願者が増加した。山形県立米沢栄養大が新設されたこともあるが、青森公立大、鳥取環境大など昨春入試で実質倍率が低かった一部の大学で大幅な志願者増となったことや、医療系単科大が堅調な人気を示したことが増加の要因となっている。

### ③ 2014年度 東北地区国公立大入試概要

2014年度入試においても「より高い合格可能性を求める」志願者動向であった。

東北地区国公立大全体の志願者数は、前期日程が102%、後期日程が100%とともに増加傾向。これを国立大、公立大でみると、国立大では前期日程が97%、後期日程が93%と減少、一方公立大は前期日程が119%、後期日程が118%と大幅増加。公立大では隔年減少が目立つが、特に入試科目において少数科目で受験できる大学での増加が顕著となった。また、前年度入試の反動は例年同様に随所にみられた。

他地区受験生の動きをみると、東北地区所在大学への出願は、震災後、年々回復傾向にあったが、今春入試ではその流れが一層強まり、震災前以上に増加した。

### ④ 東北地区国公立大《文系》入試結果

福島大—文化探求専攻（前期）は改組行われ専攻一括募集からクラス単位の募集になった。前年比196%と大幅増加。地元福島県と関東地区受験生の増加が目立った。コースによって志願者状況は明暗が分かれ、2次試験が小論文から科目に変わった「国語」「英語」「数理科学」コースは、成績上位者が多く集まった。

山形大—児童教育学科（前期）は、前年度入試において低倍率となった反動で志願者が大幅に増加（前年比245%）した。ボーダー得点率は前年の50%から61%まで回復した。

### ⑤ 東北地区国公立大《理系》入試結果

過去3年の倍率を見ると国立大は比較的落ち着いた入試であるが、公立大（とくに岩手県立大、秋田県立大）は隔年減少が著しい。工学系は例年以上に北関東から東海地区まで広範囲にわたって出願者が増加した。ただし難易度の変化は僅少であった。

### ⑥ 2015年度の入試情報

いよいよ新課程入試がスタートする。最も変化が大きいのはセンター理科である。各大学の理科の指定科目を見ても、文系は基礎科目、理系は基礎を付さない科目（4単位科目）を指定するところが主流である。ただし、「教育」「看護」など一部の学系・分野では理科の指定科目が大学によりまちまちで、これまで志望校として比較検討されてきた大学が来年度以降は併願が難しくなるケースが出てきている。とくに「看護」では理科の必要科目数が1科目であっても、4単位理科を指定する大学の場合、文系型入試で併願を考えていた受験生には受験しにくいいため、志望動向にも影響しそうである。2015年度入試については、とくにセンター理科については、志望大学の受験パターンを確認したうえで、早期に科目を決定し準備しておきたい。同一系統、近隣の大学の志望動向に変化を及ぼす可能性もあり、今後の模試で注目していきたい。